

## 情報セキュリティ10大脅威 2023

～組織向け～

順位	脅威	昨年順位
1位	ランサムウェアによる被害	1位
2位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	3位
3位	標的型攻撃による機密情報の窃取	2位
4位	内部不正による情報漏えい	5位
5位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	4位
6位	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロデイ攻撃)	7位
7位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	8位
8位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	6位
9位	不注意による情報漏えい等の被害	10位
10位	犯罪のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)	圏外

参照: 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

今年もIPA(独立行政法人情報処理推進機構)が、「情報セキュリティ10大脅威(候補)」を発表したわ。順位が上位のものには、特に注意が必要ね



### 1位 ランサムウェアによる被害

被害に遭わないために

- ・ 認証情報の適切な管理
- ・ OS、ソフトウェアは常に最新状態に



バックアップデータを定期的に作成しネットワークから分離して保管しましょう。

昨今テレワークでVPN(Virtual Private Network)を利用することが増えています。ネットワーク機器の脆弱性が悪用されないように注意しましょう。

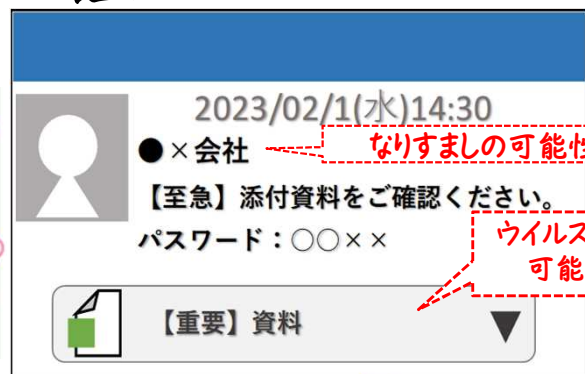
### 2位 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃

直接攻撃が困難な標的に対して、取引先や委託先を攻撃することで、**間接的・段階的に**標的を狙うという手口



サプライチェーン全体に対する情報セキュリティを強化しましょう

### 3位 標的型攻撃による機密情報の窃取



悪意のある者が、取引先等になりすましている可能性があるため、添付されたファイルの取り扱いは慎重に行いましょう。